

授業改善プラン（第5学年）

目指す児童像	自分の考えを持ち、進んで自分の言葉で伝え合う児童	
教科	課題（児童の実態）	具体的な改善プラン・言語活動の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> 話すことに前向きになってきている。 反面、話す内容に深まりがない児童が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチや話し合い活動を行い、自分の考えを伝え合える場面を設定していく。 ○自分の考えをしっかりとめるように、メモ作りや資料を生かして話す場面などを授業の中に盛り込んでいく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取る力が付いていない児童が多い。 学習したことを実生活へと生かすことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○資料を読み取るだけでなく、資料から分かることなどを話し合わせ、社会的な事象を多面的にとらえる学習を取り入れる。 ○具体的な生活場面を想起させるような導入や、体感を伴う授業作りを進めていく。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題を解くことはできるが、解き方を記述したり、説明したりするのが苦手な児童が多い。 見直しができず、簡単な間違いが目立つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを言葉や図、式、数直線などを用いて説明する活動を意識的に取り入れる。友達の考え方や発表の仕方のよさに目を向けさせる。 ○見直しをするように促し、できる喜びや自信をもたせる指導を進めていく。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心が高く、好奇心をもって授業に参加している。 思考力も徐々に付いてきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○興味・関心を引き、学習意欲が高まる問題解決学習を中心とした学習を計画する。 ○仮説（予想・理由）を設定する場面や、観察・実験の結果を考察する場面での話し合い活動を意図的・計画的に設定し、積み重ねて思考力を高めていく。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 歌うことが好きであるが、表現の豊かさに足りないところがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○歌詞の内容や曲想を生かした豊かな表現となるよう、歌詞を読み込み、思いや意図をもって歌うようにする。
図工	<ul style="list-style-type: none"> 制作活動は好きだが、自己肯定感が低く、自分の思いを深められず発想や工夫が広がらない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○制作の過程や、道具や材料の基本的な使い方について、視覚的にわかりやすくする。 ○作品を見る時間を設定し、客観的に見ることで自分の表現方法も友だちの表現方法も認められるようにさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動に対する感覚は良く、楽しみながら取り組める。 技能のポイントをつかめておらず、教え合いの場面に生かせていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学習カードを活用し、個人のめあてやチームのめあてを意識しながら活動させる。 ○技能面で、教え合いやグループ学習の場面を設定し、良さを共有したり、工夫や改善点などを伝え合ったりできるようにする。ICT機器の活用も進めていく。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞くのが苦手な児童は、技能の習得も苦手としている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ICT機器の活用を図り、目で見て、考えながら取り組めるような活動を進める。 ○技能を身に付けた児童から教える場面などを盛り込み、学び合いの雰囲気づくりを大切にしていく。
日常での取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 聞く姿勢が身に付いていない児童が多い。 深まりのある学習をしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ○講話などの要点を教室に戻ってきてから書かせるなど、日常生活の中での練習を積み重ね、聞く力を身に付けさせる。 ○一つ一つの学びをまとめ、総合的にものを判断できるように授業作りを計画していく。